

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	● 研究の名称 UIP パターン初期像に相当する HRCT 所見と組織学的所見の対比 ● 研究の対象 2009 年 4 月～2014 年 3 月に慢性型特発性間質性肺炎と診断され、外科的肺生検を実施された患者さん ● 研究の目的 特発性肺線維症（IPF）は中高年以上の男性に好発する進行性線維化性肺疾患であり、生存期間の中央値 35 か月と予後不良な疾患です。その治療薬として抗線維化薬が使われるようになっていますが、進行した症例よりも、まだ進行していない例への投薬の方が効果的であると考えられています。2018 年の IPF 国際ガイドラインでは、蜂巣肺や、牽引性気管支・細気管支拡張のない早期 IPF が疑われる症例は indeterminate for usual interstitial pneumonia (UIP:IPF にみられる組織パターンのひとつ) のカテゴリーに分類され、画像所見のみでは確定ができず、外科的肺生検を行っての多職種連携診断が推奨されています。一方、侵襲行為である外科的肺生検は世界的に減少傾向であり、より早期の病変に対して画像的に確信を持って診断出来ることが望ましいと考えられています。 本研究は、私たちが構築した特発性間質性肺炎患者さんの臨床・画像・病理データが保存された匿名化データベースを二次解析し、蜂巣肺のない IPF 症例の胸部画像と病理組織所見の対比検討を行うことを目的としています。 ● 研究の期間 2019 年 9 月から 2021 年 12 月まで ● 他の機関に提供する場合には、その方法
--------------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では共同研究機関以外に情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	● 研究に使用する情報： 検査データ、診療記録、CT データ、病理組織の電子データ、薬歴などの情報 個人を特定しうる情報は一切用いません。
利用する者の範囲	● 共同研究機関の名称及び研究責任者 佐賀大学医学部附属病院放射線科 江頭玲子
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	● 研究責任者 浜松医科大学 医学部 内科学第二講座 須田隆文 佐賀大学医学部附属病院放射線科 江頭玲子
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	本研究では、すでに個人情報に特定できない個人が特定できないように匿名化の状態となった情報を扱います。したがって、あなたの情報を研究に使用することを望まない場合であっても、あなたの情報を特定することができないため、連絡を頂いてもその使用を停止することができません。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：内科学第二講座 担当者：穂積宏尚 TEL：053-435-2263 FAX：053-435-2354